

セーフティ近畿

誰もが安心・安全で快適に暮らせる生活環境を整備します。

1 市街地の歩行空間のバリアフリー化の推進

高齢者、障害者に安全で快適な歩行空間を確保する

高齢者、障害者等に配慮した安全で快適な歩行空間を確保するため、バリアフリー化を推進。市町村が定める重点地区では円滑に移動できるよう、特定経路で重点的に整備を推進していきます。

平成19年度の事業計画
国道2号/三宮地区歩道改良(神戸市)を実施。他17箇所。



凡 例	
	地区の区域
	特定経路(地上) ※特定経路とは 特定旅客施設と主要施設の移動経路で、高齢者、身体障害者等の円滑な移動を確保できる(改善を含む)経路を特定経路とする。特定経路には道路、駅前広場、通路等が含まれる。特定経路のうち、事業が実施される経路は、道路特定事業計画で定める。
	特定経路(地下)
	特定経路(デッキ)
	鉄道駅舎等
	主要施設 ※主要施設とは 利用者が公共交通機関を利用して訪れる広域的・全市的な施設であり、当該旅客施設との間の移動が通常徒歩で行われ、かつ高齢者、障害者、妊婦等が日常生活又は社会生活において利用すると認められる施設とする。
	駅前広場

2 自律移動を支援する場所情報システムの実用化を目指す

2 ユニバーサル社会の実現に向けて

「場所情報システム」により、「移動経路」、「交通手段」、「目的地」などの情報を「いつでも、どこでも、だれでも」アクセスできる環境づくりを目指します。平成18年度には、神戸市内に実運用レベルのモデル空間を構築し、実用化に向けた実験を行いました。

自律移動支援プロジェクト サービスイメージ

H19年度の整備(試験的運用[実証実験])内容

平成19年度の事業計画
昨年度に構築された通信システム、実験環境を用いて実証実験を行い、情報を個々の属性に応じた形で提供できるシステムを構築し、実用化に向けた取り組みを継続します。

3 地域に応じた整備により生涯にわたる豊かさを創出する 住まいづくりへの総合支援と健康増進に資する公園整備

地域が多様な需要に応じた総合的な住まいづくり(大阪府地域住宅計画)

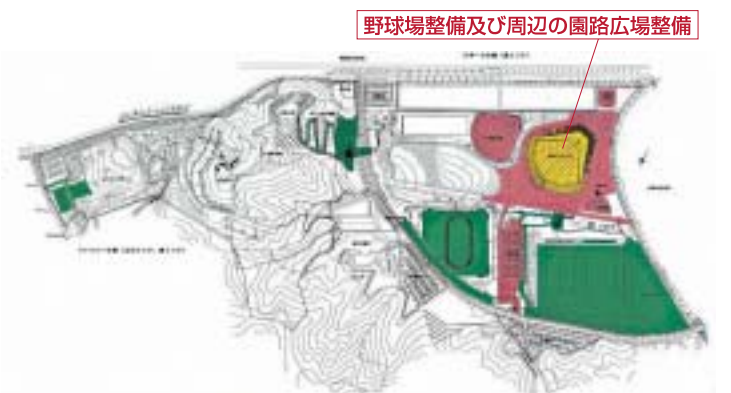
公営住宅整備事業等の既存の補助金を交付金として一本化。平成17年度に地方公共団体による住宅政策を支援する地域住宅交付金を創設しました。地域住宅計画に基づき、公営住宅の建替えなど地域の多様な需要に応じた住まいづくりを推進します。

平成19年度の事業計画
基幹事業:公営住宅等整備事業、高齢者向け優良賃貸住宅等整備事業、公営住宅ストック総合改善事業等
提案事業:公営住宅整備事業に関する事業、公営住宅ストック総合改善事業に関する事業、公営住宅整備事業にあわせた地域活性化事業、安心住まいの確保支援事業

生涯スポーツ健康増進の支援【福井市総合運動公園】

健やかで、たくましい市民を育む健康・体づくりの場として施設を整備。野球場・ソフトボール場・多目的グラウンド等の整備を行い、スポーツへの参加や自然とのふれあいを通して、市民相互の交流を深め、幅広い世代が楽しめる場を創出します。

平成19年度の事業計画
野球場、周辺の園路広場を整備します。



野球場整備及び周辺の園路広場整備